

2	午 前
---	-----

(2019 年 8 月 4 日 10 時 00 分～12 時 00 分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号 0A-0001	氏名 心理 花子
--------	---	----------------------	------------------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 公認心理師として活動することができるのはいつか、正しいものを 1 つ選べ。

- | | |
|---|---------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降
② 合格発表日以降
③ 資格申請日以降
④ 公認心理師登録簿への登録日以降 | 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。 |
|---|---------------------------|

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	②
③	③
④	●

① 医療法 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

- 解答用紙 B の場合

-

-

- | | |
|---|---|
| 3 | 3 |
| 4 | ● |
| 5 | 5 |

① 氏名 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

- 解答用紙 B の場合

-
- Diagram illustrating the removal of the first element from a queue. The top row shows a queue with elements 1, 2, 3, 4, 5. An arrow points down to the bottom row, which shows the queue after the first element (1) has been removed, leaving elements 2, 3, 4, and a null element represented by a black circle.

-

- | | |
|---|---|
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | ● |

良い例 … ●

悪い例 … ●○⊗⊙⦶ (←読取りができないため、解答になりません。)

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

DKJM-午前-3

問1 公認心理師の業務や資格について、正しいものを1つ選べ。

- ① 診断は公認心理師の業務に含まれる。
- ② 公認心理師資格は一定年数ごとに更新する必要がある。
- ③ 公認心理師の資質向上の責務について、罰則が規定されている。
- ④ 公認心理師が業務を行う対象は、心理に関する支援を要する人に限定されない。
- ⑤ 公認心理師以外でも、心理関連の専門資格を有していれば「心理師」という名称を用いることができる。

問2 統合失調症のデイケア利用者 A についてのケア会議で、スタッフ B が「A さんは気難しく、人の話を聞いていないので関わりが難しい」と発言した。A には幻聴がある。

会議の中で、B の発言に対する公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① スタッフの交代を提案する。
- ② 専門職に困難はつきものであると諭す。
- ③ 幻聴についてどの程度の知識があるかを質問する。
- ④ どのような場面で関わりが困難と感じるかを質問する。
- ⑤ 関わりを拒否するような態度は正しくないことを指摘する。

問3 20世紀前半の心理学の3大潮流とは、ゲシュタルト心理学、行動主義ともう1つは何か、正しいものを1つ選べ。

- ① 性格心理学
- ② 精神分析学
- ③ 認知心理学
- ④ 発達心理学
- ⑤ 人間性心理学

問4 普通教育に適する子どもとそうでない子どもを見分けるための検査法を最初に開発した人物は誰か、正しいものを1つ選べ。

- ① A. Binet
- ② D. Wechsler
- ③ E. Kraepelin
- ④ F. Galton
- ⑤ J. Piaget

問5 実験は実験者が操作する変数と観測される変数によって組み立てられるが、前者以外にも後者に影響を与える変数があることが多い。この変数は何か、正しいものを1つ選べ。

- ① 従属変数
- ② 剰余変数
- ③ 独立変数
- ④ 離散変数
- ⑤ ダミー変数

問6 順序尺度によるデータの散布度として、正しいものを1つ選べ。

- ① 中央値
- ② 平均値
- ③ 標準偏差
- ④ 不偏分散
- ⑤ 四分位偏差

問7 量的な説明変数によって1つの質的な基準変数を予測するための解析方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 因子分析
- ② 判別分析
- ③ 分散分析
- ④ 重回帰分析
- ⑤ クラスタ分析

問8 プライミングについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 間接プライミングは、主にエピソード記憶研究で用いられる。
- ② 直接プライミングは、先行情報と後続情報の間に意味的関連性が強い場合に生じる。
- ③ プライミングは、絵などの画像刺激では生じず、単語などの言語刺激のみで生じる。
- ④ プライミングには、先行情報が後続情報の処理を促進するだけでなく、抑制する場合もある。
- ⑤ プライミングは、先行情報が閾下呈示された場合は生じず、閾上呈示された場合のみで生じる。

問9 ある刺激に条件づけられた反応が他の刺激に対しても生じるようになることを何というか、正しいものを1つ選べ。

- ① 馴化
- ② 消去
- ③ 般化
- ④ シェイピング
- ⑤ オペラント水準

問10 社会的判断に用いる方略を4種類に分類し、用いられる方略によって感情が及ぼす影響が異なると考える、感情に関するモデル・説として、正しいものを1つ選べ。

- ① 感情入力説
- ② 認知容量説
- ③ 感情混入モデル
- ④ 感情情報機能説
- ⑤ 感情ネットワークモデル

問11 秩序や完全さにとらわれて、柔軟性を欠き、効率性が犠牲にされるという症状を特徴とするパーソナリティ障害として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 境界性パーソナリティ障害
- ② 強迫性パーソナリティ障害
- ③ 猜疑性パーソナリティ障害
- ④ スキゾイドパーソナリティ障害
- ⑤ 統合失調型パーソナリティ障害

問12 神経細胞の生理について、正しいものを1つ選べ。

- ① グルタミン酸は抑制性神経伝達物質である。
- ② 活動電位は樹状突起を通して標的に送られる。
- ③ 無髄線維では有髄線維より活動電位の伝導速度が速い。
- ④ シナプス後細胞の興奮性シナプス後電位は「全か無かの法則」に従う。
- ⑤ 1つの神経細胞における個々の活動電位の大きさは刺激の強さにかかわらず一定である。

問13 多くの人がいると、一人のときにはするはずの行動が生じなくなる傾向に関連する概念として、正しいものを1つ選べ。

- ① 社会的促進
- ② 集合的無知
- ③ 集団極性化
- ④ 情動的影響
- ⑤ 傍観者効果

問14 乳幼児の社会的参照について、正しいものを1つ選べ。

- ① 心の理論の成立後に生じてくる。
- ② 共同注意の出現よりも遅れて1歳以降に現れ始める。
- ③ 自己、他者、状況・事物という三項関係の中で生じる。
- ④ 自分の得た知識を他者に伝達しようとする行為である。
- ⑤ 乳幼児期以降、徐々にその頻度は減り、やがて消失する。

問15 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉の特性のうち「中枢性統合の弱さ」として説明できるのは次のうちどれか、正しいものを1つ選べ。

- ① 特定の物音に過敏に反応する。
- ② 他者の考えを読み取ることが難しい。
- ③ 目標に向けて計画的に行動することが難しい。
- ④ 細部にとらわれ大局的に判断することが難しい。
- ⑤ 状況の変化に応じて行動を切り替えることが難しい。

問16 神経心理学的テストバッテリーについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 各心理検査は、信頼性が高ければ妥当性は問われない。
- ② Luria-Nebraska 神経心理学バッテリーは幼児用として開発された。
- ③ 固定的なバッテリーの補完としてウェクスラー式知能検査が用いられる。
- ④ 多くのテストを含む固定的なバッテリーが仮説を検証するために用いられる。
- ⑤ 可変的なバッテリーでの時計描画テストは、潜在する気分障害を発見するために用いられる。

問17 治療者自身が相互作用に影響を与えることを含め、治療者とクライアントの間で起きていることに十分注意を払うことを何というか、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己開示の活用
- ② 治療同盟の確立
- ③ 応用行動分析の適用
- ④ 関与しながらの観察
- ⑤ 自動思考への気づき

問18 E. T. Gendlin は、問題や状況についての、まだはっきりしない意味を含む、「からだ」で体験される感じに注目し、それを象徴化することが心理療法における変化の中核的プロセスだとした。この「からだ」で体験される感じを表す用語を1つ選べ。

- ① コンテナー
- ② ドリームボディ
- ③ フェルトセンス
- ④ フォーカシング
- ⑤ センサリー・アウェアネス

問19 ライフサイクルと心の健康の関わりについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 人の心身の発達は、成人期でピークになると考えられている。
- ② 女性の更年期障害は、閉経後に様々な身体症状や精神症状を来す病態である。
- ③ 青年期は、統合失調症、うつ病、社交不安症などの精神疾患の発症が増える時期である。
- ④ 各ライフサイクルにおいて対応を要する問題は、疾患の種類にはよらず年齢によって決まる。
- ⑤ 認知症は老年期に発症する病気であるため、成人期における認知機能の低下の原因としては別の疾患を考える。

問20 我が国における児童虐待による死亡事例の近年の傾向として、正しいものを1つ選べ。

- ① 死因となった虐待種別はネグレクトが最も多い。
- ② 虐待の加害者は実父が最も多い。
- ③ 心中による虐待死事例における加害の背景は、「経済的困窮」が最も多い。
- ④ 心中以外の虐待死事例での被害者は0歳児が最も多い。
- ⑤ 心中以外の虐待死事例での加害者は20歳未満が最も多い。

問21 マルトリートメントについて、正しいものを1つ選べ。

- ① マルトリートメントは認知発達に影響しない。
- ② 貧困はマルトリートメントのリスク要因にならない。
- ③ マルトリートメントを受けた子どもは共感性が高い。
- ④ マルトリートメントを受けた子どもは警戒心が乏しい。
- ⑤ マルトリートメントを受けることは、将来身体的健康を損なうリスクとなる。

問22 DSM-5の心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 児童虐待との関連は認められない。
- ② 症状が1か月以上続いている必要がある。
- ③ 診断の必須項目として抑うつ症状がある。
- ④ 眼球運動による脱感作と再処理法〈EMDR〉の治療効果はない。
- ⑤ 心的外傷の原因となる出来事は文化的背景によって異なることはない。

問23 日本語を母語としない成人の知能検査として、最も適切なものを1つ選べ。ただし、検査内容の説明程度は日本語で理解できるものとする。

- ① PARS-TR
- ② WISC-IV
- ③ ベンダー・ゲシュタルト検査
- ④ ウィスコンシンカード分類検査
- ⑤ コース立方体組み合わせテスト

問24 2017年に文部科学省が実施した「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における暴力行為に当てはまるものとして、適切なものを1つ選べ。

- ① 中学生が親を殴った。
- ② 学区内の公園で、中学生が故意に遊具を壊した。
- ③ 高校生が後輩の中学生に対し、金品を持ってくるように命令した。
- ④ 小学生がバットの素振りをしていたところ、通りかかった教師に当たった。
- ⑤ 中学校内で、同じクラスの生徒同士が殴り合いになったが、双方に怪我はなかった。

問25 1960年代の R. Rosenthal の実験で、ある検査の結果、学業成績が大きく向上すると予測される児童の氏名が教師に伝えられた。実際には、児童の氏名は無作為に選ばれていた。8か月後、選ばれた児童の学業成績が実際に向上していた。

このような現象を説明する用語として、正しいものを1つ選べ。

- ① ハロー効果
- ② プラセボ効果
- ③ ホーソン効果
- ④ ピグマリオン効果
- ⑤ アンダーマイニング効果

問26 いじめの重大事態への対応について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 被害児童生徒・保護者が詳細な調査を望まない場合であっても、調査を行う。
- ② 重大事態の調査を行った場合は、調査を実施したことや調査結果を社会に公表する。
- ③ 「疑い」が生じた段階ではなく、事実関係が確定した段階で重大事態としての対応を開始する。
- ④ 児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるときに限り、重大事態として対応する。
- ⑤ 保護者から、いじめという表現ではなく人間関係で心身に変調を来したという訴えがあった場合は、安易に重大事態として対応しない。

問27 形成的評価について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 一定の教育活動が終了した際に、その効果を把握し判断するために行う評価
- ② 個人の学力に関する特定の側面をそれ以外の側面と比較して把握し判断するために行う評価
- ③ 過去と現在の成績を比較して、どの程度学力が形成されたかについて把握し判断するために行う評価
- ④ 指導前に、学習の前提となるレディネスが形成されているかを把握し、指導計画に活用するために行う評価
- ⑤ 指導の過程で学習の進捗状況や成果を把握し判断して、その情報をその後の指導計画に活用するために行う評価

問28 DSM-5の反社会性パーソナリティ障害の診断基準として、正しいものを1つ選べ。

- ① 10歳以前に発症した素行症の証拠がある。
- ② 他人の権利を無視し侵害する広範な様式で、14歳以降に起こっている。
- ③ 反社会的行為が起こるのは、統合失調症や双極性障害の経過中ではない。
- ④ 他人の権利を無視し侵害する広範な様式には、「自殺のそぶり、脅し」が含まれる。
- ⑤ 他人の権利を無視し侵害する広範な様式には、「衝動性、または将来の計画を立てられないこと」が含まれる。

問29 ある人物の起こした1件の大きな事故の背後には、同一人物による軽度、重度の同様の事故が29件発生しており、さらにその背後には、事故にはならなかったが危ない状況が300件あることを示した事故発生モデルは何か、正しいものを1つ選べ。

- ① インシデント
- ② 危険予知モデル
- ③ スイスチーズモデル
- ④ スノーボールモデル
- ⑤ ハインリッヒの法則

問30 緊張病に特徴的な症状として、正しいものを1つ選べ。

- ① 昏迷
- ② 途絶
- ③ 観念奔逸
- ④ 情動麻痺
- ⑤ カタプレキシー

問31 オピオイドの副作用として頻度が高いものを1つ選べ。

- ① 下痢
- ② 疼痛
- ③ 流涎
- ④ せん妄
- ⑤ 錐体外路症状

問32 我が国の保険診療の制度について、正しいものを1つ選べ。

- ① 後期高齢者医療制度の対象は80歳以上である。
- ② 被保険者は保険医療機関に一部負担金を支払う。
- ③ 審査支払機関は企業・事業所に負担金を請求する。
- ④ 診療報酬は保険者から保険医療機関に直接支払われる。
- ⑤ 保険薬局は処方箋を交付した保険医療機関に薬剤費を請求する。

問33 ストレスチェック制度について、正しいものを1つ選べ。

- ① 事業者は、ストレスチェックの実施者を兼ねることができる。
- ② 事業者は、面接指導の結果を記録しておかなければならない。
- ③ 事業者は、労働者の同意がなくても、その検査の結果を把握することができる。
- ④ 医師による面接指導を実施するにあたり、情報通信機器を用いて行うことは認められていない。
- ⑤ 事業者は、一定程度以上の心理的な負担が認められる全ての労働者に対し医師による面接指導を行わなければならない。

問34 学校における自殺予防教育について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① プログラムは地域で共通のものを使用する。
- ② 学級づくりのできるだけ早い段階に実施する。
- ③ 目標は早期の問題認識及び援助希求的態度の育成である。
- ④ いのちは大切なものであるという正しい価値観を提供する。
- ⑤ 自殺のリスクを抱える児童生徒のプログラム参加は避ける。

問35 公認心理師法について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 秘密保持義務についての規定がある。
- ② 信用失墜行為に対しては罰則が規定されている。
- ③ 主務大臣は文部科学大臣及び厚生労働大臣である。
- ④ 国民の心の健康の保持増進に寄与することが目的である。
- ⑤ 公認心理師は、心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果の分析を行う。

問36 Alzheimer 型認知症の患者に対して公認心理師が実施するものとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① ADAS
- ② 回想法
- ③ COGNISTAT
- ④ ケアプラン原案の作成
- ⑤ 認知症ケアパスへの参加

問37 メタ記憶的活動のうち、記憶モニタリング(メタ認知的モニタリング)の下位過程として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 保持過程
- ② 確信度判断
- ③ 既知感判断
- ④ 学習容易性判断
- ⑤ ソースモニタリング判断

問38 半構造化面接について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 質問紙型の面接ともいわれる。
- ② 質問を追加することができる。
- ③ 面接の前に質問項目を用意する。
- ④ 構造化の程度による面接区分の一種である。
- ⑤ 対象者の反応に応じ、質問の順番を変更する。

問39 学校生活での悩みを持つ思春期のクライアントとの面接に関して、保護者への情報提供に係る対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 事前に、秘密や記録の扱いについて関係者と合意しておく。
- ② 保護者から情報提供の依頼があったことをクライアントに知らせ、話し合う。
- ③ クライアントの意向にかかわらず、秘密保持義務を遵守するために、保護者からの依頼を断る。
- ④ 相談面接において、特に思春期という時期に秘密が守られることの重要性について、保護者に説明する。
- ⑤ 保護者に情報提供することで、保護者からの支援を受けられる可能性があるクライアントに説明する。

問40 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 配偶者が専業主婦(主夫)の場合は育児休業を取得できない。
- ② 3歳に満たない子を養育する従業員について、労働者が希望すれば短時間勤務制度を利用できる。
- ③ 従業員からの申出により、子が1歳に達するまでの間、申し出た期間、育児休業を取得できる。
- ④ 夫婦で取得するなど、一定の要件を満たした場合、子が1歳2か月になるまで育児休業を取得できる。
- ⑤ 3歳に満たない子を養育する従業員から申出があった場合、原則として所定外労働をさせることはできない。

問41 右利きの者が右中大脳動脈領域の脳梗塞を起こした場合に、通常は
みられないものを1つ選べ。

- ① 失語症
- ② 左片麻痺
- ③ 全般性注意障害
- ④ 左半身感覚障害
- ⑤ 左半側空間無視

問42 児童相談所の業務内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 親権者の同意を得て特別養子縁組を成立させる。
- ② 必要に応じて家庭から子どもを離して一時保護をする。
- ③ 親権者の同意を得て児童福祉施設に子どもを入所させる。
- ④ 子どもに関する専門性を要する相談を受理し、援助を行う。
- ⑤ 市区町村における児童家庭相談への対応について必要な援助を行う。

問43 教育基本法第2条に規定される教育の目標として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 勤労を重んずる態度を養う。
- ② 自主及び自律の精神を養う。
- ③ 豊かな情操と道徳心を養う。
- ④ 個性に応じて進路を選択する能力を養う。
- ⑤ 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。

問44 スクールカウンセラーに求められる役割として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① チーム学校の統括
- ② 児童生徒への学習指導
- ③ 教職員へのスーパービジョン
- ④ 心理的問題などへの予防的対応

問45 SOAP 形式の診療録の記載内容について、正しいものを1つ選べ。

- ① S に神経学的所見を記載する。
- ② O に患者が話したことを記載する。
- ③ A に検査データを記載する。
- ④ P に今後のマネージメントの計画を記載する。

問46 「就労継続支援 B 型」について、正しいものを1つ選べ。

- ① 50 歳未満であれば対象となる。
- ② 一般就労のために必要な訓練が行われる。
- ③ 障害基礎年金を受給している者は対象とならない。
- ④ 障害者のうち、雇用契約に基づく就労が可能な者が対象となる。

問47 アレキシサイミア傾向の高い心身症患者の特徴について、正しいものを1つ選べ。

- ① 身体症状より気分の変化を訴える。
- ② ストレスを自覚しにくいことが多い。
- ③ 身体症状を言葉で表現することが難しい。
- ④ 空想や象徴的な内容の夢を語るが多い。

問48 心理面接における沈黙について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 沈黙の受け取り方は文化によって多様である。
- ② 沈黙はクライアント自身の内的探索を阻害する。
- ③ 沈黙はクライアントの不快さを増大させることがある。
- ④ 沈黙によってクライアントに共感を伝えることもできる。

問49 心理的支援を要する者へ多職種チームで対応する際に、公認心理師が留意すべき点として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 要支援者もチームの一員とみなす。
- ② 要支援者の主治医の指示を確認する。
- ③ 多重関係に留意しながら関連分野の関係者と連絡を取り合う。
- ④ チームに情報を共有するときには、心理学の専門用語を多く用いる。

問50 公認心理師法について、正しいものを2つ選べ。

- ① 公認心理師の登録を一旦取り消されると、再度登録を受けることはできない。
- ② 公認心理師は、心理に関する支援を要する者から相談の求めがあった場合にはこれを拒んではならない。
- ③ 公認心理師は、その業務を行ったときは、遅滞なくその業務に関する事項を診療録に記載しなければならない。
- ④ 公認心理師は、心理に関する支援を要する者に当該支援に係る主治の医師があるときは、その指示を受けなければならない。
- ⑤ 公認心理師は、公認心理師法に規定する公認心理師が業として行う行為に関する知識及び技能の向上に努めなければならない。

問51 緩和ケアにおける家族との関わりについて、正しいものを 2つ 選べ。

- ① グリーフケアは家族には行わない。
- ② リビングウィルの表明には家族の承諾が必要である。
- ③ 患者の死後、遺族へは励ましの言葉がけが最も有効である。
- ④ アドバンス・ケア・プランニングに家族も参加することが望ましい。
- ⑤ レスパイトは家族の看護疲れを緩和するために患者が入院することである。

問52 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について、正しいものを 2つ 選べ。

- ① 適切な配慮を行うためには医師の意見書が必要である。
- ② 行政機関は合理的な配慮をするように努めなければならない。
- ③ 対象者の性別、年齢及び障害の状態に応じた配慮が行われる。
- ④ 対象となる障害には身体障害、知的障害、精神障害及び発達障害が含まれる。
- ⑤ 事業者は、差別解消の配慮は負担の軽重にかかわらず必要があれば行わなければならない。

問53 生活習慣病やその対応について、正しいものを2つ選べ。

- ① 心理的支援は、準備期以降の行動変容ステージで行われる。
- ② 腹囲に反映される内臓脂肪型肥満が大きな危険因子になる。
- ③ 問題のある生活習慣のリスクを強調することにより、必要な行動変容が進む。
- ④ メタボリック症候群の段階で行動変容を進めることが、予後の改善のために重要である。
- ⑤ ライフスタイルの問題によって引き起こされる疾患であるため、薬物療法の効果は期待できない。

問54 二次的外傷性ストレス[Secondary Traumatic Stress<STS>]による反応について、正しいものを2つ選べ。

- ① 幼児期のトラウマ体験を原因とする。
- ② フラッシュバックを呈することがある。
- ③ 被害者の支援活動をしている人に生じる。
- ④ 回復には年単位の時間を要することが多い。
- ⑤ 不安発作の反復を恐れ、社会的活動が制限される。

問55 虞犯について、正しいものを2つ選べ。

- ① 虞犯少年とは14歳以上の者をいう。
- ② 虞犯少年は少年院送致の処分を受けることがある。
- ③ 虞犯という概念は少年に限らず、成人にも適用される。
- ④ 虞犯少年とは、将来罪を犯すおそれのある少年のことをいう。
- ⑤ 虞犯少年は児童相談所における措置は受けるが、家庭裁判所には送致されない。

問56 女性の更年期障害について、正しいものを2つ選べ。

- ① エストロゲンの分泌が増加する。
- ② ギナドトロピンの分泌が増加する。
- ③ 顔面紅潮や発汗は不眠の原因となる。
- ④ ホルモン療法は抑うつに効果がない。
- ⑤ 欧米人に比べて日本人では肩こりや腰痛の頻度が低い。

問57 うつ病にみられることが多い症状として、適切なものを2つ選べ。

- ① 心気妄想
- ② 迫害妄想
- ③ 貧困妄想
- ④ 妄想気分
- ⑤ 世界没落体験

問58 公認心理師を養成するための実習について、正しいものを2つ選べ。

- ① 公認心理師に求められる倫理や態度を学ぶ良い機会である。
- ② 実習生の評価には多肢選択式の客観的な試験による評価が適している。
- ③ 実習に先立って目標を明示し、実習指導者と実習生が共有することが重要である。
- ④ 実習生は、公認心理師の資格を持っていないため、クライアントの面接を行うべきではない。
- ⑤ 実習生がクライアントに直接関わらず見学のみの場合は、その同意をクライアントに求める必要はない。

問59 2歳の女児A。母親が専業主婦であり、保育所には通所していない。母子関係は良好で安定しており、特にこれまで母親と父親のいずれからも身体的虐待などの不適切な養育を受けたことはない。しかし、最近、母親に対する父親の暴力が頻繁に生じるようになり、また、3歳の兄Bがささいなことで父親から激しい身体的虐待を受けるようになった。

今後、Aに生じてくることが想定される心理的反応や親子関係について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Bと助け合う行動が増える。
- ② 母子関係はその後も良好であり続ける。
- ③ 父親に対して次第に怒りなどの敵対的な感情を表出するようになる。
- ④ 頻繁に泣いたりぐずったりするなどの情緒面での動揺が激しくなる。
- ⑤ 問題行動が生じる可能性はあるが、Bに比べれば、対応の必要性は低い。

問60 21歳の女性A、会社員。伝えたいことを言葉で表現することが苦手で、不安が高まるとますますコミュニケーションが困難となる。職場では、苦手な電話対応を担当業務から除き、作業の指示にあたってもメモを活用するなど、十分な配慮を受けており、職場の居心地は良く、仕事にもやりがいを感じている。他方、自宅から職場が遠く、また自立したいという希望もあるが、親元を離れて一人暮らしを始めることに不安を感じている。Aはその相談のため会社が契約する心理相談室に来室した。

心理相談室の公認心理師がAの支援をするにあたり、Aに実施するテストバッテリーに含める心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CBCL
- ② Conners 3
- ③ IES-R
- ④ Vineland-Ⅱ
- ⑤ VRT

問61 2歳2か月の男児A。Aの保護者は、Aの言葉の遅れと、視線の合いにくさが気になり、市の相談室に来室した。現時点では、特に家庭での対応に困ることはないが、同年代の他の子どもと比べると、Aの発達が遅れているのではないかと心配している。また、どこに行っても母親から離れようとしないことも、気にかかるという。

Aの保護者からの情報とAの行動観察に加え、公認心理師である相談員がAに実施するテストバッテリーに含める心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① WPPSI-Ⅲ
- ② CAARS 日本語版
- ③ 新版 K 式発達検査
- ④ 日本語版 KABC-Ⅱ
- ⑤ S-M 社会生活能力検査

問62 31歳の女性A。身体疾患により一時危篤状態となったが、その後回復した。主治医は、再発の危険性はないと説明したが、Aはまた同じ状態になって死ぬのではないかという不安を訴え、ベッドから離れない。病棟スタッフからはリハビリテーションを始めるよう勧められたが、かえって不安が強くなり、ふさぎ込む様子がみえたため、主治医が院内の公認心理師に面接を依頼した。

公認心理師がまず行う対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 心理教育として死生学について情報提供を行う。
- ② 不安を緩和するためのリラクゼーションを行う。
- ③ 再発や危篤の可能性が少ないことを引き続き説得する。
- ④ 面接の最初に「あなたの不安はよく理解できる」と言う。
- ⑤ 死の恐怖とそれを共有されない孤独感を話してもらい、聴く姿勢に徹する。

問63 32歳の女性。民間のカウンセリングセンターに電話で申し込んだ上で、来所した。申込時の相談内容には「夫婦の関係で困っている」と記載されている。

インテーク面接を担当する公認心理師が自己紹介や機関の説明をした上で、具体的に相談内容を聞き始める際の発言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 今日は、どういうご相談でしょうか。
- ② どうして、ご夫婦の関係が問題なのですか。
- ③ ご夫婦の関係についてのご相談ということですが、なぜここに相談を申し込まれたのですか。
- ④ お電話ではご夫婦の関係で困っていらっしゃると伺いましたが、ご結婚はいつなさったのですか。
- ⑤ お電話ではご夫婦の関係で困っていらっしゃるとのことでしたが、もう少しご事情をお話いただけますか。

問64 75歳の男性A。総合病院の内科で高血圧症の治療を受けている以外は身体疾患はない。起床時間は日によって異なる。日中はテレビを見るなどして過ごし、ほとんど外出しない。午後6時頃に夕食をとり、午後8時には床に就く生活であるが、床に就いてもなかなか眠れないため、同じ病院の精神科外来を受診した。診察時に実施した改訂長谷川式簡易知能評価スケール〈HDS-R〉は27点であった。診察した医師は薬物療法を保留し、院内の公認心理師に心理的支援を指示した。

Aに対する助言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 寝酒は寝つきに有効かもしれません。
- ② 眠くなるまで布団に入らないようにしましょう。
- ③ 1時間程度の昼寝で睡眠不足を補ってください。
- ④ 健康のために、少なくとも8時間の睡眠が必要です。
- ⑤ 午前中に1時間くらいのジョギングをしてみましょう。

問65 26歳の男性A。Aの両親がひきこもり地域支援センターに相談のため来所した。Aは3年前に大学を卒業したが、就職活動を途中で中断し就職はしていない。1年前まではたまにアルバイトに出かけていたが、それ以降は全く外出していない。インターネットを介して知人と交流しているが、長時間の使用はない。独語や空笑は観察されず、会話や行動にも不自然さはないという。Aは医療機関への受診を拒絶している。

両親への対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族教室への参加を勧める。
- ② インターネットの解約を助言する。
- ③ 地域包括支援センターを紹介する。
- ④ 精神保健福祉法に基づく移送制度の利用を助言する。
- ⑤ 精神障害者相談支援事業所の利用について情報を提供する。

(注：「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」である。)

問66 4歳の女兒 A。A は2週間前に豪雨による水害で被災し、避難所で寝泊まりをするようになった。避難所では母親のそばを片時も離れなかった。10日前に自宅に戻ったが、自宅でも A は母親について回り、以前していた指しゃぶりを再びするようになった。夜静まると戸外の音に敏感になり、「雨、たくさん降ったね。川からゴーって音したね」と同じ話を繰り返した。被災から2週間がたつが A は保育園にもまだ行けないため、母親は保育園を巡回している公認心理師に、対応の仕方を尋ねてきた。

公認心理師の助言として、適切なものを1つ選べ。

- ① 通園させるように強く促す。
- ② 母子が少しずつ離れる練習をする。
- ③ 指しゃぶりをやめさせるようにする。
- ④ 災害時の様子を話し始めたら、話題を変える。
- ⑤ 災害に関するニュースなどの映像を見せないようにする。

問67 5歳の男児 A。落ち着きがないことから、両親が児童相談所に来所した。A は乳幼児期から母親と視線を合わせ、後追いもあり、始歩1歳0か月、始語1歳3か月で、乳幼児健康診査で問題を指摘されたことがなかった。ただし、よく迷子になり、気が散りやすく、かんしゃくを起こすことが多く、何かあると母親は A をすぐに叱りつけてしまう。幼稚園でも、勝手に部屋から出ていったり、きちんと並んで待てなかったりするなど集団行動ができない。

この事例に対して児童相談所の公認心理師がまず行うべき対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 一時保護をする。
- ② 薬の服用を勧める。
- ③ しつけの方法を指導する。
- ④ 療育手帳の申請を勧める。
- ⑤ 発達検査を含むアセスメントを行う。

問68 9歳の男児 A、小学3年生。同じクラスの B と C とはいつも一緒に下校していたが、1週間前から B と C は下校中に A をおいて走って帰ったり、3人分のランドセルを A に持たせたりしていた。そのため、A がこのようなことを嫌がり、「学校に行きたくない」と言っていると、A の保護者から校内の公認心理師に相談があった。

A の保護者に許可を得た上で、公認心理師が担任教師に行う助言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A を他の児童と帰らせるように助言する。
- ② B と C の謝罪をもって解決とするように助言する。
- ③ A にいじめられた理由を考えさせるように助言する。
- ④ 当事者の家庭での解決を求めるように助言する。
- ⑤ 事実を確認し、学校のいじめの対策組織に報告するように助言する。

問69 17歳の男子A、高校2年生。Aは、無遅刻無欠席で、いつもきちんとした身なりをしており真面目と評されていた。ところが、先日、クラスメイトの女子Bの自宅を突然訪ね、「デートに誘っても、いつも『今日は用事があるから、今度またね』と言っているけれど、その今度はいつなんだ」と、Bに対して激昂して大声で怒鳴りつけた。この経緯を知ったAの両親がAの心理を理解したいとAを連れて心理相談室を訪ねてきた。

Aの心理特性について見立てるためのテストバッテリーに加えるものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① AQ-J
- ② MPI
- ③ SDS
- ④ STAI
- ⑤ TEG

問70 28歳の男性A。Aは1か月前に幻覚妄想状態を発症し、1週間前に精神科病院を受診した。統合失調症と診断され、抗精神病薬の投与が開始された。本日の早朝、家族の呼びかけに反応がなく、無動であったため、精神科病院に救急車で搬送された。意識障害、40℃台の高熱、発汗、頻脈、血圧上昇、四肢の筋強剛及び振戦を認める。頭部CT検査と髄液検査に異常はなく、血液検査では、白血球数の増加、炎症マーカーの亢進及びクレアチンキナーゼ〈CK〉の著明な上昇を認める。尿は暗赤褐色である。

Aの病態について、適切なものを1つ選べ。

- ① 熱中症
- ② 悪性症候群
- ③ 急性ジストニア
- ④ セロトニン症候群
- ⑤ 単純ヘルペス脳炎

問71 79歳の男性A。3人の子どもが独立した後、Aは妻と二人暮らしだったが、1年前にその妻に先立たれた。妻の死後しばらくは、なぜ丈夫だった妻が自分よりも早く死んだのかという思いが強く、怒りのような感情を覚えることが多かったが、最近はむしろ抑うつ感情が目立つようになってきている。近くに住む娘に、20歳から30歳代だった頃の話我突然し始めたり、その一方で「自分のこれまでの人生は無駄だった、もう生きていてもしょうがない」というような発言が増えてきたりしている。また、本人は自覚していないが、既にやり終えたことを忘れてしまうことも少しずつ生じてきている。

Aの心理状態の説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 絶望
- ② 認知機能の低下
- ③ レミニセンスバンプ
- ④ 補償を伴う選択的最適化
- ⑤ 妻の死の受容過程の初期段階

問72 14歳の女子A、中学2年生。Aは母子家庭で育ったが、小学6年生のときに実母が再婚し、現在は継父を含めた三人家族である。ある日、Aの顔色が悪いため、友人がAを保健室に連れて行った。養護教諭がAから話を聞いたところ、Aは「あの人(継父)が夜中に部屋に入ってきて身体を触り、抱きついてくるから、家に帰りたくない」と語った。同時に「他の先生や親には絶対に言わないでほしい」と訴えた。養護教諭は重大な問題であるとAを諭し、教頭と校長に伝え、学校から児童相談所に通告をした。すぐに児童福祉司が学校でAと面談し、虐待の可能性が強いと判断し、Aを一時保護した。

現時点での児童相談所の対応として、適切でないものを1つ選べ。

- ① Aの了解を得て、産婦人科医の診察を受けてもらう。
- ② 児童福祉司が、継父の性的虐待を処罰するために告訴することを勧める。
- ③ 児童心理司による面接や一時保護所での行動観察を通して、被害の影響について調査、評価を行う。
- ④ 司法面接で用いられる面接技法のトレーニングを受けた職員が被害状況を確認するための面接を行う。
- ⑤ 児童福祉司が両親に対して、一時保護の理由、これからの見通し、保護者に不服審査請求の権利があることなどについて説明する。

問73 8歳の男児 A、小学2年生。入学当初から落ち着きがなく、授業中に立ち歩く、ちょっとしたことで怒り出すなどの行動があった。2年生になるとこのようなことが多くなり、教室から飛び出し、それを止めようとした担任教師に向かって物を投げるなどの行動が出てきた。

Aの行動を理解するためのスクールカウンセラーの初期対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① Aの作文や絵を見る。
- ② Aの知能検査を実施する。
- ③ 1年次の担任教師からAのことを聞く。
- ④ 担任教師や友人のAへの関わりを観察する。
- ⑤ Aの家庭での様子を聞くために、保護者との面接を担任教師に提案する。

問74 35歳の男性 A、営業職。時間外・休日労働が社内規定の月 60 時間を超え、疲労感があるとのことで、上司は公認心理師に A との面接を依頼した。直近 3 か月の時間外・休日労働の平均は 64 時間であった。健康診断では、肥満のために減量が必要であることが指摘されていた。疲労蓄積度自己診断チェックリストでは、中等度の疲労の蓄積が認められた。この 1 か月、全身倦怠感が強く、布団から出るのもおっくうになった。朝起きたときに十分に休めた感じがなく、営業先に向かう運転中にたまに眠気を感じることもあるという。

公認心理師の対応として、不適切なものを 1 つ選べ。

- ① 生活習慣の把握を行う。
- ② うつ病などの可能性の評価を行う。
- ③ A に運転業務をやめるように指示する。
- ④ A の医学的評価を求めるように事業主に助言する。
- ⑤ 仕事の負担度、仕事のコントロール度及び職場の支援度を把握する。

問75 23歳の男性 A、大学4年生。Aが学生相談室に来室した。昨年度末で卒業の予定であったが、必修科目の単位が取得できず留年した。その必修科目については1年次から何度も履修を繰り返し、単位取得に向けて最大限の努力を続けてきたが、結果は全て不合格であった。今年度からは、留年した学生のための特別な学習指導を新たに受けられるようになった。それにもかかわらず、努力をしても無駄だと感じて意欲を喪失し、欠席が続いている。

現在の A についての説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自尊感情が過度に低い。
- ② テスト不安が過度に高い。
- ③ 学習性無力感に陥っている。
- ④ ソーシャルスキルが不十分である。

問76 58歳の女性A。1年前に会社の健康診断で軽度の肥満と高血糖を指摘されたが、そのままにしていた。最近、家族に促されて総合病院の糖尿病内科を受診したが、自ら治療に取り組んでいくことに前向きになれない様子であった。そのため、多職種からなる治療チームで対応を検討することになり、そのメンバーである公認心理師にAに対する心理的支援が依頼された。

Aに対する心理的支援を様々な職種と連携しながら進める上で、適切なものを2つ選べ。

- ① 心理面接でAから得た情報は、他職種から得た情報よりも常に重要である。
- ② 治療初期の心理的支援の主な目的は、服薬アドヒアランスを高めることである。
- ③ 生物心理社会モデルに基づき、Aの心理面だけでなく身体面や社会面も理解する。
- ④ Aのセルフモニタリングから得られた情報を他職種と共有しながら、食事や運動の行動変容を進める。
- ⑤ 医師、看護師、管理栄養士など多くの職種の専門性を活かすために他職種の行っていることに意見をしないようにする。

問77 12歳の女兒A。祖父Bと散歩中に自動車にはねられた。Bは全身を打撲し、救命救急センターの集中治療室で治療を受けているが、意識障害が持続している。Aは下肢骨折により整形外科病棟に入院した。入院後、Aは夜間あまり眠れず、夜驚がある。日中は、ぼんやりとした状態がみられたり、急に苛立ち、理由もなくかんしゃくを起こしたりする。両親が自宅から持ってきたAの好きなぬいぐるみを叩いたり、壁に打ち付けたりする。

Aの行動の説明として、適切なものを2つ選べ。

- ① 素行障害
- ② 解離性障害
- ③ 反応性アタッチメント障害
- ④ トラウマティック・ボンディング
- ⑤ ポストトラウマティック・プレイ

